

## 薬物乱用防止推進事業について

大船渡保健所 環境衛生課

## 1 はじめに

薬物乱用については覚醒剤や大麻などの禁止薬物に加え、一般用医薬品の過剰摂取が若年層を中心に広がり、社会問題となっています。気仙地域では、薬物事犯の検挙や相談が増加している傾向は見受けられないものの、未然防止のための普及啓発を中心に取組を実施しています。その概要を紹介します。

## 2 薬物乱用防止推進事業

## (1) 薬物乱用防止指導員による啓発活動

地域特性に応じた薬物乱用防止活動を展開するため、県では薬物乱用防止指導員を委嘱しています。主に薬剤師、保護司、民生委員など 22 名が活動しており、学校での薬物乱用防止教室や地域の集会等で啓発を行っています。当所では指導員に対する研修会の実施や啓発資材の調整、活動実績の取りまとめ等を行っています。

## (2) 関連行事

以下を啓発強化期間とし、監視指導やポスター等により啓発を強化しています。

- 不正大麻・けし撲滅運動 : 5～8 月
- 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 : 6～7 月
- 「6.26 ヤング街頭キャンペーン」: 6 月 22 日 23 日前後 (R7 年度は当所開催予定)
- 麻薬・覚醒剤乱用防止運動 : 10～11 月

## (3) 薬物関連相談窓口の設置

各保健所での相談受付を行っています。

## 3 不正けし抜去指導について

例年 5～8 月、不正栽培や犯罪予防の観点から、各地に自生している大麻やけしの撲滅運動を警察と協働して実施しています。大麻は医療用用途が認められ法改正が行われましたが、不用な栽培は大麻取締法により禁止されています。麻薬成分を含む違法なけしは、あへん法により栽培が禁止されています。

当所では令和 5 年度にアツミゲシ (セティゲルム種) の群生を発見し、抜去指導を行いました (21 箇所 11,400 本、全県の 9 割弱を占めた)。抜去後も数年は生育が認められることが多く、本年度も継続して抜去を行いました。

## 4 まとめ

薬物乱用は首都圏を中心として問題になっていますが、SNSの普及等により、以前より容易に入手できる状況になっています。健康で住みよい社会環境づくりを進めるため、特に若年層に対する普及啓発に力を入れていく必要があります。

昨年度に違法けしであるアツミゲシの多数自生が確認され、当所管内の地理的条件が増加要因のひとつと考えられるため、監視を強化し撲滅を図ります。

(裏面)

# 不正大麻・けし撲滅運動



## 大麻(アサ)

発見したら  
**通報**  
して下さい!!



**葉**

葉は、葉肉の間に3~9枚の透き通る腺毛の集まる毛皮が覆っている。葉は5~7枚の掌状複葉になる。葉の長さは10~20cm程度。葉の裏面に多くは腺毛が着く。葉は濃い緑色になる。



**雄花** **雌花**

花は葉の腋生。雄花と雌花が別々の株につきます。雄花は、葉のつけ根に穂状の雄花序を多数つけます。雌花は穂状の雌花序を多数つけます。

大麻は、春から夏にかけて生育し、成長が早く、丈の高いものは高さ3mにもなりますが、種子を採りつづけた後は枯れてしまいます。よく成長した葉は太く多量に刈り取り、刈り残すだけで済みます。

## 違法なけし



**ケシ** (Papaver rhoeas)

**つぼみの特徴**

つぼみの外観は、キャベツの葉のよう丸みを帯びた緑色をしています。つぼみの表面には、ほとんど毛がありません。

**花の特徴**

花びらの数は、8~12枚。花は、白、赤、黄、紫、白と赤の縞模様など、また、多数の花びらがついた八重咲きの花もあります。



**アツミゲシ** (Papaver somniferum)

**つぼみの特徴**

つぼみの外観は緑色で、つぼみの表面やつぼみの下の茎(花柄)には毛があります。

**花の特徴**

花びらは8枚。花は通常、赤、白、紫、白と赤の縞模様など、また、多数の花びらがついた八重咲きの花もあります。



**ハカマオニゲシ** (Papaver officinale)

**つぼみの特徴**

つぼみの表面には、多くがしたげられた毛が多数ついています。

**花の特徴**

花びらは4~8枚。花柄に多数の刺状の毛があります。花びらのすぐ裏面に4~8枚のハカマ(冠毛)があります。

## 違法ではないけし



オニゲシ



アイスランドポピー



ヒナゲシ (虞美人草)



ブルーポピー



ナガミヒナゲシ

**大麻・けしを発見したときは下記にご連絡下さい。**  
 各地方厚生(支)局麻薬取締部(支所)・都道府県業務主管課・保健所・警察署  
 厚生労働省・都道府県